

教育福祉論

[講義] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》白石 淳 [jun-jun@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

学生の関心領域を中心に、論理的な基盤を明確にしながら、学校、教育に生じる事象を多角的に検討し、これらの事象にある課題を追求、解決する手法を探求する。

【学修目標】

自己の関心領域に関連する教育福祉の課題について、理論や概念を活用し多面的に説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 7	教育福祉の先行研究の講読	先行研究の講読をとおして自己の課題、分析の視点、調査方法、分析方法等を学ぶ。	白石
8) 13	自己の関心領域における教育福祉の課題についての検討	各理論、先行研究などを踏まえ、課題の意味、課題を捉える方法を検討する。	白石
14) 15	自己の関心領域における教育福祉の課題の解決方法の検討	各理論、先行研究などを踏まえ、課題の解決方法を検討する。	白石

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート20%、プレゼンテーション40%、ディスカッション40%

【教科書】

なし

【参考書】

必要に応じて適宜提示する。

【学修の準備】

関連領域の文献を熟読すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという臨床福祉学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。